



図－3 アジア太平洋地域脆弱性マップ(一次影響地域：水没と氾濫)

表－4 世界全体の水没面積
(海面上昇＋潮汐)

海面上昇[m]	面積[km ²]	割合[%]
0	623,922	0.46
0.09	666,560	0.50
0.5	954,436	0.71
0.88	1,218,683	0.91
1	1,256,416	0.94

界全体の水没面積を表－4に示す。その結果、海面が1m上昇すると仮定して計算した場合、世界全体での水没範囲は全陸域の0.94%なのに対しアジア・太平洋地域は1.70%にも及ぶことがわかった。

3. 1. 2 二次影響評価

(1) 人口

二次影響の評価では、一次影響の水没や氾濫で影響のある地域の人口、自然、経済への影響について算出した。

ここでは、現在直ちに海面上昇が生じた場合に影響を受ける人口を潜在的危険人口と定義し、1995年時の人口分布データを水没域データとオーバーレイさせることにより基準となる危険人口を算出した。また、将来危険人口の評価は、人口増加シナリオを適用した人口を用いて行った。危険人口は、潜在的危険人口と同様に一次影響域のデータと将来人口分布のデータとのオーバーレイ解析によって算定し、危険人口、総人口に対する危険人口割合、影響域平均人口密度を世界全域で推算した。アジア・太平洋地域の人口への影響を表－5、全世界の人口への影響を表－6に示す。現在(1995年値)においても一次影響と同様、アジア・太平洋地域の潜在的危険人口比が高いが、2100年にはこの傾向はさらに強まり、危険人口比は全世界では2.66%から2.42%と微減するのに対し(総影響人口は増加)、アジア・太平洋地域では2.42%から4.25%にも上昇すると推算された(海面上昇1mの場合)。

表－5 アジア・太平洋地域の人口への影響

海面上昇[m]	1995年		2100年の推計人口	
	人口[人]	割合[%]	人口[人]	割合[%]
0	27,993,038	1.45	48,053,970	1.67
0.09	30,272,609	1.57	52,591,701	1.83
0.5	52,058,007	2.70	92,466,031	3.22
0.88	69,833,220	3.62	121,524,113	4.24
1	70,154,413	3.64	121,884,003	4.25

表－6 全世界の人口への影響

海面上昇[m]	1995年		2100年の推計人口	
	人口[人]	割合[%]	人口[人]	割合[%]
0	66,316,174	1.17	112,638,468	1.04
0.09	74,800,342	1.33	129,420,825	1.19
0.5	111,411,720	1.97	199,480,768	1.84
0.88	146,645,525	2.60	256,558,243	2.37
1	150,264,645	2.66	262,478,884	2.42

また、全世界の沿岸域を対象に海面上昇の影響範囲(水没)を計算し、アジア・太平洋地域との比較を行った。世